

平成30年度「自己評価結果報告書」

学校法人 薄永学園  
八街すずらん幼稚園

当園ではこの度、平成30年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この自己評価の結果を深く受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

子ども一人一人を尊重し、次のような教育目標に向かって子どもを育てることにより、「自分で考え、自分で行動できる子ども、生活力のある子ども」の育成を目指します。

- 1、げんきなつよい子ども
- 2、きまりを守れる子ども
- 3、のびのびとした創造性豊かな子ども

① 体験を通して意欲的な子どもを育てる。

家庭ではなかなかできないことを経験し、興味や好奇心を持てる積極的で意欲的な子どもを育てます。(動物とのかわり、植物栽培、戸外での活発で伸び伸びとした遊びなど)

② 体操、英語、音楽、絵画、製作を楽しむ。

興味を持って自ら活動が楽しめるよう指導します。(体操講師による体育指導、ネイティブ英語講師による英語指導、歌の指導、楽器遊びやリトミック遊び、クレヨン、絵の具などのテーマ絵画や自由絵画、制作等)

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 安全管理体制の充実
- 家庭との連携強化
- 未就園児活動の充実

III. 評価項目と取り組み状況

重点課題	評価項目	取り組み状況
1	教職員の資質向上	園内研修、園外研修に計画的に取り組み、保育に活かせる技術・知識を学び合う機会を設け、教職員の資質向上を目指す。教職員一人ひとりが自身の研修課題・テーマを明確にしたうえで外部研修への参加や保育研究に積極的に取り組み、その成果を教職員間で共有し、実際の保育に活かす。 A 夏期休暇に個人研修を行う取り組みを継続して実施し、研修後の報告会にて全員で共有する事で保育の質の向上に取り組むことができた。研修で得たものは実際の保育に活かし、運動会の種目決め等を行った。また、各自が違った内容の研修に参加しており、全員が様々な情報を吸収する機会を得ることができた。

平成30年度「自己評価結果報告書」

学校法人 薄永学園  
八街すずらん幼稚園

重点課題	評価項目	取り組み状況
2	安全管理体制の充実	事故や怪我、感染症、災害発生など、緊急時対応手順のマニュアル化を進め、教職員間で共通理解を深めるよう取り組み、応急処置などより実践的な対応ができるようにしている。 A 緊急時対応手順のマニュアルを作成し、夏期休暇等を利用し各個人で確認を行った。更に、様々な場合を想定した避難訓練を定期的実施することで緊急時対応の理解を深める取り組みを行った。併せて、感染症に関するマニュアルも各クラスに設置し、適切な対応がとれる体制とした。
3	家庭との連携強化	園での子どもの様子を保護者へ積極的に伝え、家庭での様子や情報を収集し相互理解を深め、幼稚園と家庭の連携を高めていく。 S 月2回のおたよりポストやお返しの際などに、園内での子どもの様子をできる限り伝える取り組みを行った。またバス通園の子どもについてもメモを活用し同様に園内の様子を伝える取り組みを行った。逆に、家庭での様子を伺うことも心がける事で相互理解を深め、家庭との連携を強化する取り組みを行った。
4	未就園児活動の充実	地域の未就園児の子ども達を対象とした育児支援活動の充実を図る。地域から受け入れてもらえる幼稚園となるため、保護者や子どもの目標になった活動を研究し、多くの保護者や子どもから選んでもらえる園になれるような活動を計画的に行う。 A 未就園児のイベントについてHPのお知らせに掲載したり、メール等にて参加を呼びかけるなど、当園を知ってもらう為の取り組みを行った。また、HPのブログを写真付きにするなどの工夫や、Facebook開設などの取り組みも行った。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である